

# あさる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.21  
-2019.4-



- P.1 佐々館長よりご挨拶
- P.2 さあ新学期、図書館へ行こう!
- P.3 ビブリオバトル体験記
- P.4 ビブリオバトル高知地区予選会
- P.5 所蔵資料紹介 大型コレクション  
図書館員のオススメ本
- P.6 めでいもりReport
- P.7 めでいもりInformation



## ■館長挨拶



佐々浩司館長

専門分野は  
流体力学、  
気象学です。



今年が高知大学図書館70周年にあたります。学術情報基盤図書館と改名して3年が過ぎました。図書館といえば、かつては静粛な場の代表であり、ページをめくる音やペンを走らせる音のみが聞こえるような環境をイメージされる方が多いかと思います。

しかし、現在の大学図書館は単なる勉学のための資料参照の場というだけでなく、活発な議論を通じてお互いの知見を高める場としてのラーニングcommonsを提供する代表的な施設であるとともに、レポート作成支援や資料活用のための検索支援などを積極的に行うことが必要とされてきています。

学術情報基盤図書館もこういった観点から、自由に議論を行うことができるスペースや、リラックスして飲食もしながら学習ができるスペースを設けてきました。レポート作成の仕方に関するセミナーも頻繁に開催して、学生の皆さんの支援を行っています。また、図書館や自分のパソコンから自由にアクセスできる様々なデータベースや電子ジャーナルを利用できる環境も整えています。

残念ながら、これらのサービスが十分に皆さんに理解され、活用されているとはまだまだ言うことができません。スマートフォンで少し検索すれば、いくらでも知識を手に入れることができる現代にあって、わざわざ図書館に足を運ばなくても、という気持ちになるのも仕方のないことかもしれません。しかし、インターネットに広く氾濫している膨大な情報の中には時には間違っただけのものも数多く含まれています。大学の図書館はオーソライズされた的確な情報を得ることのできる場です。その名の通り、学術の基盤となる情報が多く集められているのが図書館です。あまり足を運ぶことのない皆さんもぜひ図書館に来られてはいかがでしょうか。勉学に行き詰まったとき、図書に囲まれた雰囲気の中で集中力を養ったり、お茶をしながら心を落ち着けて考えをまとめることもできるでしょう。さらに解決の糸口となる本に出会うこともできるかもしれません。一人で思いあぐねるだけでなく、図書館に来て互いに議論を戦わせると、新しい考えに至ることもできるでしょう。図書館が皆さんの憩いの場でもあり、頼りになる施設となるよう、我々もさらに努力をして環境整備を進めていきたいと考えています。困ったときにはふと足を運んでください。表紙を飾るスタッフの皆さんが優しく手を差し伸べてくれますよ。

(学術情報基盤図書館長 佐々 浩司)

医分館	物部分館	中央館
医分館	中央館	中央館
医分館		

## 表紙の人

私たちがお手伝いします!

今号は図書館のスタッフが表紙を飾りました。

## さあ新学期、図書館へ行こう!



### ■レポート作成セミナーの開催について(中央館)

大学に入り、レポート課題にとまどっている方、どんな風に書けばいいのか分からない!そんな方のために、今年度も図書館では「レポート作成セミナー」を開催します。講師は学生総合支援センターの先生です。毎年多くの学生さんが参加するこのセミナーは、“レポートってなに?”から始まり、レポートを書くための基礎知識から作成の手順までご説明します。大学生を送るためにまず身に付けたい知識です。ぜひぜひご参加ください。日時等詳細は中央館の掲示板をご覧くださいか、窓口でお尋ねください。



レポート作成の方法などについて、  
簡単でわかりやすい小冊子が発行されています。  
各館で配布中!



中央館では2階、  
アクティブラーニングフロアで  
配布しています

上記のセミナー以外にも5月~6月にかけて、中央館と物部分館では図書館の便利な利用方法などを知ってもらうためのガイダンスを行っています。OPAC(蔵書目録)での資料の探し方など、職員が分かりやすくご案内します。図書館活用テクニックを身につけて、学生生活をより充実したものにしましょう。開催日程は図書館内の掲示板やHP、KULAS等でお知らせします。

そのほか、グループやゼミ単位でのオンデマンドガイダンスも受け付けています。ご希望の日程、内容で行いますので、ご活用ください。

ガイダンスのお問い合わせ	中央館	kg07@kochi-u.ac.jp
	物部分館	kg06@kochi-u.ac.jp
	医学部分館	kg05@kochi-u.ac.jp

### ■サポートデスクの開設について(中央館)

学生による学生のためのサポートデスクを朝倉キャンパスのメディアの森2Fに開設します。資料の探し方が分からない、文献の検索はどうするの?など、図書館の利用に関することや、ICT(PC・プリンター)利用について困っていることがあれば、気軽にご相談ください。学生目線で分かりやすくサポートします。

こちらも開設日は中央館の掲示板をご覧くださいか、窓口でお尋ねください。



## ビブリアバトル体験記

昨年全国大学ビブリアバトルに参加された森田涼さんが体験記を寄せてくださいました。

### — 知的書評合戦ビブリアバトル —

みなさん、「ビブリアバトル」というものをご存じですか?「ビブリア(Biblio)」は「本」を意味する接頭辞ですので、素直に日本語訳すると「本の闘い」ということになります。しかしバトルと付いていますが、公式サイトという言葉借りすると、ビブリアバトルは本の紹介コミュニケーション「ゲーム」です。

具体的には、参加者が紹介したい本を持ち寄り、5分間その本を紹介し、その後、聴衆からの質疑と参加者の応答を2分間行い、全参加者の紹介が終わると、会場内のすべての人が投票を行い「チャンプ本」というものを選びます。「チャンプ本」を紹介した人がそのビブリアバトルの勝者となります。

私は今回、高知大学で行われた予選会、オーテピアで行われた予選会を勝ち抜いて、四国Aブロック代表として大阪で行われる全国大学ビブリアバトルに参加させていただきました。本稿では、予選会から全国大会を通じて私が感じたことをみなさんにお伝えしたいと思います。

まず全体を通じて私が感じたのは、ビブリアバトルの本旨でもある「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」という精神のすばらしさです。今回、予選会をはじめとして各大会に本好きな人々が集まり、各々が自分の好きな本を聴衆に向けて紹介しました。もちろん、聴衆の方も本が好きな方々が多かったです。本のジャンルも様々で、学術系の本から、新書、自己啓発本、ホラー小説、恋愛小説、青春小説と多岐にわたっていました。しかし、全員が自分以外のジャンルにも興味を持ち、反応し、受容してくれました。そこからは本を起点として多くのコミュニケーションが生まれ、新しい輪が広がっていききました。見事にビブリアバトルの精神を実現していたのです。

次に、自分の考えを言葉、身振り手振りでもって相手に伝えることの難しさを感じました。ビブリアバトルでは与えられた5分間という時間は絶対的なもので、早めに終わったのでそこで終了することもできなければ、オーバーしたので延長ということもできません。発表者は5分間という時間を適切に使い、聴衆に「読みたい」と思ってもらわなければならない必要があります。当然、紹介するポイントも絞らなければいけませんし、反応がわからないながら内容を臨機応変に変える必要もあります。そしてなにより、自分の伝えることが相手に完全に伝わることはありえません。試行錯誤の末に本番を迎え、登壇し、緊張するなか紹介に至ります。しかし、そういった難しさ、歯がゆさ、焦りも、いざバトルが終われば心地良さに変わります。そういうところもビブリアバトルの魅力だと思います。

最後に、このビブリアバトルというものの認知度は各都道府県でかなりの差があるということを知りました。こと高知県に関してはかなりの後進地であると言えるでしょう。全国大会に出場してきた人たちの所属する大学にはビブリアバトルのサークルがありますし、参加者も数多くのビブリアバトルへの参加経験がありました。そうした状況を知り、私は全国大会参加という経験を生かし、高知県でのビブリアバトルの浸透と発展に貢献したいと考えています。

ビブリアバトルは基本的に楽しいものです。批判などは生まれません。自分の好きな本を決められた時間の中で好きなように紹介すればいいのです。そして人の輪が広がっていき、自分の世界も広がっていきます。こんな生産的なイベントがくすぶっているのは「もったいない」。高知大学でも予選会が年に1回行われています。みなさん、ぜひ参加して、「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」を体験しましょう。

(人文社会科学部 3年生 森田 涼)



## ■「全国大学ビブリアバトル」高知地区予選の開催について

ビブリアバトルは、自分のお薦め本を5分間で紹介しあい、投票するバトルです。

昨年10月24日に「全国大学ビブリアバトル」の高知地区予選会(高知大学会場)を、メディアの森2Fアクティブラーニングコーナーで開催し、7人のバトル者がお薦め本について語ってくれました。続いて11月21日に人文社会科学部棟で第2回が開かれ、バトル者5人が参加しました。

2回の予選で選ばれたチャンプ2名は、11月25日にオーテピア高知図書館で開催された高知地区決選に出場、人文社会科学部2年生(当時)の森田涼さんが紹介した「七帝柔道記」が見事チャンプ本に選ばれ、12月の全国決戦に進みました。左ページは森田さんの体験記です。

私も参加してみたい!と思った方、今年も開催予定です。お待ちしております!



平成30年10月24日 高知地区予選会の様子

## 今回の高知地区予選会(高知大学会場)で紹介された本は下記のとおりです。

### 第1回(平成30年10月24日)

- 「世界から格差がなくなる本当の理由」 池上彰著 SBクリエイティブ
- 「植物図鑑」 有川浩著 角川書店
- 「なぜ貧しい国はなくなるのか」 大塚啓二郎著 日本経済新聞出版社
- 「ストーリー・セラー」 有川浩著 新潮社
- 👑「そのままのきみがすき」 マックス・ルケード作/セルジオ・マルティネス絵 いのちのことば社
- 「まだ東京で消費してるの?」 イケダハヤト著 幻冬舎
- 「未来の年表<2>人口減少日本であなたに起きること」 河合雅司著 講談社

### 第2回(平成30年11月21日)

- 👑「七帝柔道記」 増田俊也著 角川文庫
- 「三日間の幸福」 三秋縉著 KADOKAWA
- 「冤罪と裁判」 今村核著 講談社
- 「Mr. 都市伝説 関暁夫の都市伝説」 関暁夫著 竹書房
- 「神・時間術一脳のパフォーマンスを最大まで引き出す」 樺沢紫苑著 大和書房

# 所蔵資料紹介:大型コレクション

今回は平成30年度の大型コレクション予算で購入された二点をご紹介します!

## ■「Treatise on Geophysics (Second Edition)」 e-book editor-in-chief, Gerald Schubert (Elsevier 2015)

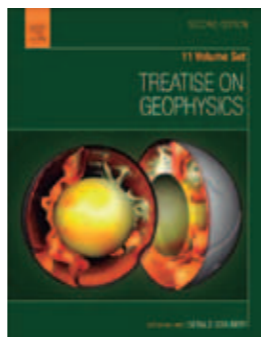
高知大学はTHE世界大学ランキング2017~18で601~800位にランクインし、とくに地球惑星科学分野における研究力が高く、AERA特集記事(2017年10月16日号)では「FWCI」(相対被引用インパクト)指標が国内1位であると紹介されているのはご存じでしょうか。この分野における教育研究の質を保つためには、図書館を通じて、最新の研究成果が分かりやすくまとめられた教科書的な論文集に常時アクセスできることが重要です。

「Treatise on Geophysics (Second Edition)」は、地球物理学諸分野の最新研究成果が包括的にまとめられている論文集です。「深部地球地震学」「鉱物物理学」「測地学」「地震の地震学」「地球電磁気学」「地殻と岩石圏の動力学」「マントルの動力学」「中心核の動力学」「地球の進化」「地球型惑星と月の物理」「地球表層の資源」の全11巻からなり、いずれも各分野の第一人者の研究者によって編集・監修されています。論文集という体裁をとっているものの、諸分野の最新知見を体系的に学ぶことができる最新・最高の教科書といえ、これらの分野の学習・研究には必携の書です。

(海洋コア総合研究センター 山本裕二 先生)

※URL: <https://www.sciencedirect.com/referencework/9780444538031/>

高知大学HPの「高知大学OPAC」、「高知大学電子リソース検索」からも検索可能です。



「ガクニン」も使える!  
(P.7参照)

## ■『満洲開拓関係雑誌集成(編集復刻版)』(不二出版 2015.9-2016.2)

このたび高知大学学術情報基盤図書館に『満洲開拓関係雑誌集成(編集復刻版)』全11巻・別冊1巻が配架されることになりました。昨年、当図書館は旧満洲関係の書籍1276冊を受贈し、寄贈者のお名前をいただき「崎山ひろみ文庫」と命名し設置しました。ただ、いわゆる満洲移民史研究には、「満洲開拓」と称して日本人移民は現地を何を行ったのか、日本人移民が入り込んだ村はどのような村になったのか、という点については十分明らかにされてこなかった(『集成』カタログ・北海道大学白木沢旭児教授)という側面があり、本『集成』所収の『開拓協和』等の雑誌には、そうした欠(けつ)を補う具体的な報告文・記事等が多数掲載されています。高知大学における平和学関連の資料群にまた大きな柱が加わったといえるでしょう。図書館員の方々のご配慮により開架式書架に収められましたので、学生、教職員だけでなく広く地域の方々に活用されることを希望しています。

(人文社会科学部 吉尾 寛 先生)

・配架場所:中央館A4開架 334.51/Man/1~12



## 図書館員のオススメ本 Recommended Books

### バッタを倒しにアフリカへ

前野ウルド浩太郎著 光文社 2017

昆虫博士のアフリカモーリタニアでのフィールドワーク奮闘記です。バッタや研究への愛情に溢れ、けっこう悲愴な状況下にあるのに、ユーモアのある文体で、決してネガティブな印象を与えません。身辺の人への温かい目といい、実に魅力的な人柄と筆力です。希望や夢の大切さも忘れずに語り、豊富な写真についた説明がまたよいのです。読みづらいたところが一切なく、理系に疎い私も一気に読了しました。1年間に刊行された全ての新書から、その年「最高の一冊」を選ぶ「新書大賞2018」に輝いたのも当然です。読んで損はありません。笑いたい方、悩み多き方、とりわけお薦めします。

#### 所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A2ブックハンティング	光文社新書/883
物部分館	南関小型	486.45/Bat
医学部分館	2F書架(一般)	486.4/ハ

#### 推薦者

医学部分館  
三本 洋子



# めでいもり Report

## ■ブックハンティング・ブックリクエストweek

図書館に置きたい本を学生自らが選書するイベントを今年も開催しました。

「ブックハンティング」は、10月10日(水)朝倉キャンパス(高知大学生協書籍部)、岡豊キャンパス(金高堂書店医学部店)、10月13日(土)は帯屋町の金高堂本店にて行われました。参加者は合計44人、選定冊数254冊となりました。当日会場で飛び入り参加の学生もいましたが、参加した学生は皆熱心に本を選んでいました。

また、物部分館では10月1日~15日に集中してリクエストを受け付ける「ブックリクエストweek」を実施しました。多くの学生さんが参加、57冊の図書が選定されました。

選ばれた図書は、各館ブックハンティングコーナー、ブックリクエストコーナーを設け、展示していますのでぜひご利用ください。



## ■データベース利用講習会の開催

### ・「JapanKnowledge(ジャパンナレッジ)Lib」利用説明会

11月8日、朝倉キャンパスメディアの森2F教育端末室で専門講師による講習会を開催しました。約50種類以上の事典・辞書・雑誌等のコンテンツを収録した当データベースの機能・操作方法について説明を受け、今後のレポート作成・調査研究・就活のための情報収集の活用方法のコツを実例を交えながら聴くことができました。

### ・Scopus利用講習会

12月5日~6日、各キャンパスにおいて論文情報検索データベース「Scopus」の講習会を開催しました。提供元からの専門講師が、論文の検索から管理までの実践方法について実習を交え、分かりやすく説明しました。研究には必須の当データベースの利用については毎年多くの参加があり、今回も熱心な参加者の姿がありました。



## ■物部分館 夜間学生スタッフによる企画展示

物部分館では、平成28年度から年2回程度、夜間学生スタッフによる企画展示を実施しています。毎回スタッフで話し合いながらテーマを決め、おすすめの本を選び、展示をしています。

本年度2回目は、スタッフのおすすめ本として、スタッフが出し合ったテーマ「青春」「SF」「恋愛」「犬」「虫」「絵本」「食文化」等からスタッフがランダムに選んだテーマの図書を選び、ポップを作成して平成30年11月26日~平成31年1月31日まで展示しました。

## 図書館員のオススメ本 Recommended Books

### かがみの孤城 辻村深月著 ポプラ社 2017

この物語は、あることが原因で不登校になってしまった中学生の女の子が、鏡の中にあるお城へ招待され、そこで出会った同じような境遇の中学生7人で、お城の中にある、1人だけ願いがかなうという、願いの部屋の「鍵」を探すというファンタジーです。自分では解決できず立ち止まってしまっても、助け合える仲間がいれば、そして、その存在に気が付くことができれば、前へ進むことができるのではないかと色々考えさせられたお話でした。また、様々な謎が最後に一気に明らかになるので、読後はとてもすっきりしました。再読すると、なおすっきりします。

#### 所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A2ベストセラー	913.6/kag
物部分館	南関一般	913.6/Kag

#### 推薦者

中央館  
池 由美子



# めでいもりInformation

**◆ゴールデンウィーク  
休館のお知らせ**  
 2019年4月27日(土)～5月6日(月)  
 は3館とも連続休館となります。  
 長期の休館となりご不便をおかけしますが、  
 ご了承願います。

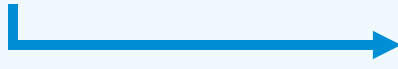
## 「gakunin」始まっていますよ～

学術認証フェデレーション「学認」により、高知大学が契約している電子ジャーナル・データベース等を、学外からでも利用することが可能となりました。対象は本学に所属する学生および教職員です。ご利用できる電子リソースは以下の通りです。(2019年3月現在)

- ・Scopus   ・ScienceDirect   ・Springer   ・Cambridge Journals Online   ・OUP Journals
- ・Wiley Online Library   ・EBSCO   ・Nature   ・ProQuest   ・CiNii   ・日経BP
- ・JapanKnowledge (ジャパンナレッジ) Lib   ※同時アクセス2人まで

### ◆学認サービスについて(各種マニュアルもあります)

<http://www.iic.kochi-u.ac.jp/ipc/gakunin/gakunin.htm>



### ◆アクセス方法

・利用者向けポータルサイト(学認クラウドゲートウェイ)からのアクセス  
<https://cg.gakunin.jp/>

学認クラウドゲートウェイ利用マニュアル(学内限定)  
[http://www.iic.kochi-u.ac.jp/ipc/gakunin/kochi-u/Cloud\\_Gateway\\_manual.pdf](http://www.iic.kochi-u.ac.jp/ipc/gakunin/kochi-u/Cloud_Gateway_manual.pdf)

・各電子リソースの画面から直接リモートアクセスをする場合  
 学外から各出版社の電子ジャーナルやデータベースHPにアクセスしトップページの「Login」等をクリックします。次のログイン方法を選択する画面で、「Login via institution」、「Institutional Login」、「学認…」などをクリックしてください。各出版社により細かい点が異なります。

※各電子リソースの画面展開については「学認サービスについて」の中にある「本学で利用可能な学認サービスの認証マニュアル(学内限定)」も参考になさってください。

## 編|集|後|記|

今年は間もなく元号が改まり、新しい時代が始まりますね。具体的には「新しいゴム印作らなくっちゃ!」、ぐらしか思いつきませんが、不思議と気持ちも改まる気がします。



新しい時代も「あうる」では図書館からの情報をお知らせしていきます。ぜひ、参考にしてくださいね!

あうる No.21 (2019年4月発行)

[編集・発行]  
 高知大学学術情報基盤図書館  
 〒780-8520 高知市曙町2-5-1  
 Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161  
 U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>  
 E-mail : [lib@kochi-u.ac.jp](mailto:lib@kochi-u.ac.jp)